（前 社団法人 全国ベビーシッター協会）2012.3.31迄

ACSA PRESS

http://www.acsa.jp

創刊2号 2013.7 通巻 Vol.74

公益社団法人
全国保育サービス協会®
〒160-0017 東京都新宿区左門町6-17 YSKビル7F
TEL:03-5363-7455　FAX:03-5363-7456

居宅訪問型保育サービスを基幹とした保育サービスを通じて、すべての子どもと子育て家庭の良質な生育環境を保証することのできる社会の実現に寄与します。

発行人/網野武博　編集/広報啓発委員会　発行年月日/2013年（平成25年）7月

知事対談

岡山県知事 伊原木 隆太 氏に聞く

若いママ達と同じ目線で子育て支援を

7月で47歳となる伊原木知事。「若さと自由な発想によって、臆することなく改革にチャレンジしながら、県政を誠実に推進する」という知事は子育て支援に関しても、まさに同年代目線で現状、理想をしっかり捉えながら力強く名誉会長との対談でお答え頂きました。

伊原木（いばらぎ） 隆太（りゅうた）氏
岡山県知事

東京大学 工学部卒業後、平成2年外資系経営コンサルティング会社入社。同社退社後平成7年、スタンフォード・ビジネススクール修了 MBA取得。
平成8年、株式会社天満屋取締役に就任。同社代表取締役社長歴任後、平成24年、岡山県知事就任

名誉会長…日本三名園の一つに名を連ねる「後楽園」をはじめ、倉敷の美観地区、大原美術館、蒜山高原、湯原・湯郷温泉などなど、誇れる名所が数々ある岡山で小・中・高と多感な時代を過ごされ、天満屋という百貨店の社長を経験されて岡山県知事に就任された豊富をお聞かせください。

知事…私は知事就任までの14年間、経営者として民間企業の舵取りを行ってまいりました。この経験から、民間視点を取り入れることで県庁はよりよい結果が生み出せる組織になると感じていまして、少しずつ改革を進めているところです。

我がふるさと岡山は、温暖な気候と多様な自然環境に恵まれ、力強い経済活動と豊かで快適な生活基盤が整っている地域です。こうした、これまで築き上げられてきた成果や基盤を生かしながら、本県をより魅力的な地域として発展させ、どこに住んでいても明日への希望で満たされ、すべての県民が明るく笑顔で暮らす「生き活き岡山」の実現に向けて、全力で邁進してまいります。

名誉会長…中四国のクロスポイントである岡山。古くは古代吉備の文化発祥の地として栄え、現在も多様な産業、経済の発展、文化の振興に大きく寄与される中で、次世代の発展につながる「出産・子育て」「育児支援」についての岡山県としての取り組み、施策をお聞かせください。

知事…子育て支援は未来への投資という観点に立ち、保育施設の充実や母子の健康を守る医療の確保に加え、子育てと仕事の両立支援を進めるほか、産業振興を通じて若年層の雇用安定を図り、子どもを安心して産み育てられる環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。

我が県の特色を活かした独自の事業としては、県内の大学等が有する資源を活用して行う、産・学・官・民の協働によるユニークな子育て支援の取組「おかやま子育てカレッジ」や、子育て中の親子が気軽に集い交流する場として「おかやま地域子育て支援拠点」ももっこステーションと呼んでおりますが、これに係わる支援のほか、従業員の子育てや地域の子育てを応援する企業を「おかやま子育て応援宣言企業」として登録・紹介するとともに、ワークライフバランス導入などの取組支援のため、宣言企業に専門家を派遣するサポート事業を実施しています。

また、本年度、病気になった子どもを一時的に預けることができる病児保育施設を増やすため、全国初となる県独自の使いやすい助成制度「働くおとうさん・おかあさん応援事業」を創設しました。

病児・病後児保育について、元々医師や看護師がいる病院に保育機能をつけてもらったほうが早いのではないかという新たな発想です。これで子育て中のおとうさん、おかあさんの不安が解消されればと考えています。

また、子育てしやすい地域づくりの実現が未来の活力につながるとの強い思いから、広島県の湯崎知事や鳥取県の平井知事にお声かけをいただいて、志を同じくする10人の若手県知事による「子育て同盟」を4月に発足させました。この同盟でしっかりとスクラムを組んで切磋琢磨しながら、一層効果的な子育て支援施策の推進に繋げていきたいと考えています。

名誉会長…私どもの所属します団体「公益社団法人全国保育サービス協会」は、その事業目的として「子どもの成長発達の基盤となる家庭養育の支援を基本理念とし、保護者等の委託を受けて、その居宅等に訪問して行う保育サービス（以下「訪問保育サービス」という）等を通して、すべての子どもと子育て家庭の良質な成育環境を補償することのできる社会の実現に寄与することを目的とします」としています。但し、協会の正会員としては①訪問保育サービス事業者会員②指定保育士養成施設会員③施設保育サービス事業者会員とあり、いわゆる認可外保育施設の事業についても、新たな分野を切り開いています。（公益社団法人全国保育サービス協会ごあんないをご参照ください）

知事にはこの団体を把握いただき、訪問保育という「ベビーシッター」について又「認可外保育施設」についての知事のお考えをお聞かせください。

知事…現在は女性の就業機会が拡大し、共働き家庭が一般化していますが、それぞれの地域で就労形態や生活形態などは様々であり、子育て家庭の保育ニーズは多様化しています。そのため、子育てと仕事の両立を支援するためには、認可外保育所を含むすべての保育施設で保育内容の充実を図るとともに、家庭に入って育児のサポートをする訪問保育についても、その役割はますます重要になってくるのではないかと思います。

名誉会長…知事にはお嬢様がお二人いらっしゃるとのことですが、知事の「子育て論」をお聞かせください。

知事…まずは愛情を持って子どもを育てることです。ただ、愛情を持って育てると、甘やかしにつながることもあり、子どもに手をかければかけるほど良いというものではなく、そこが子育ての難しいところではないでしょうか。「かわいい子には旅をさせろ」と言われていますが、楽しい旅ではなく、自分を鍛える経験をさせてあげることも大事だと思っています。

名誉会長…県自慢をお聞かせください。

知事…岡山県には素晴らしい観光資源や文化資源が豊富にあることは先程ご紹介頂きましたが、それに加えて、温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれており、晴れの日が多いことから「晴れの国」と呼ばれています。この温暖な気候を活かした果物や海の幸・山の幸など美味しいものがたくさんあります。

また、陸海空の交通インフラや、水島コンビナートを初めとする産業集積、全国的にも高水準の医療体制、高品質の農林水産物など、力強い経済活動と豊かで快適な生活の基盤が整っている地域であると思っています。

名誉会長…では最後に、少子化に対するお考えと、今後の抱負をお聞かせください。

知事…少子化については非常に危機感を持っています。誰もが安心して子どもを産み育てられ、夢と希望を持って働き、子育てを皆で支える社会にするために、子育てに関わるすべての人が、それぞれ知恵を絞りながら連携して取り組まなければなりません。

子どもは菊のように光を当てれば2倍速く育つなんてことはないわけですから、一刻でも早く動かなければならないと思っています。

日本の子どもが少ないということは、この国の将来を決めてしまうほどの大問題ですが、子どもを産みたい、育てたいと思う人がいるのに、環境が整わないためにあきらめている人が多いと聞いています。

子どもを持つかどうかは個人の決定に委ねられるものですが、希望と現実のかい離を解消し、子どもを持ちたい人の希望がかなう社会を実現する必要があります。

いままでも国や地方において、様々な少子化に対する対策が行われてきましたが、これまで検討されてこなかったことも含めて、結果に表れる取組をしたいと考えています。

名誉会長…本日は本当にお忙しい中、お時間を頂きましてありがとうございました。新しい、若い知事を迎えて、観光資源、文化資源があふれる岡山県のますますのご発展を期待いたします。

Interviewer
巷野（こうの） 悟郎（ごろう）
名誉会長
東京大学医学部卒業 小児科医　都立駒込病院副院長、都立府中病院院長、東京家政大学教授、聖徳大学児童学科教授を経て、現在 一般社団法人全国保育サービス協会名誉会長、社団法人母子保健推進会議会長
主な著書に「赤ちゃんが書かせてくれた～小児科医からママへの手紙」「保健保育の基礎知識」など多数